

市民の皆様へ

STOP ! 外来生物

オオキンケイギクの駆除にご協力ください



道路沿いに自生するオオキンケイギク(写真:本巢市撮影 仏生寺地内)

・「オオキンケイギク」とは？

5月から7月にかけて、直径5～7cmの橙黄色の花をつけ、道端や堤防などでよく見かけます。オオキンケイギクは、生態系に重大な影響を及ぼす植物として、法律により「特定外来生物」に指定され、栽培すること、生きたまま移動させること、野外に放つことなどが禁止されています。

・オオキンケイギクの特徴は？

高さは30センチから70センチ程度で固まって生息します。花は一重咲きと八重咲きのものがあり、花弁の先端はぎざぎざとなっています。葉はへら状の形をしており、葉の両面には微細な産毛がたくさん生えています。茎も同様に産毛がたくさん生えています。



花(一重咲き)



花(八重咲き)



葉



茎

・どうやって駆除すればいいの？

(写真:本巢市撮影)

根から引き抜き、枯死させましょう。堤防などに大量に生えている場合は、種子がない時期に茎から刈り取ることも、生息範囲を拡げない効果があります。

・駆除の後の処理はどうすればいいの？

生きたまま移動させて根付かせたり、種子が拡散したりしないように注意してください。

その場で2,3日放置して枯死させた後、ビニール袋などに入れ、可燃ゴミとして処理してください。種子がない時期に刈り取り、花や茎だけを移動することは問題ありません。

○カラー写真は市のホームページでご確認をお願いします。

<http://www.city.motosu.lg.jp/life/kankyou/tokuteigairaiseibutu/tokuteigairaiseibutu.html>

外来生物対策 基本原則

- ・外来生物を持ち込まない
 - ・既に生息している外来生物を移動させない
 - ・飼っている外来生物を自然に放たない
- 岐阜県自然環境保全課 058-272-8231
本巢市生活環境課 058-323-7751